

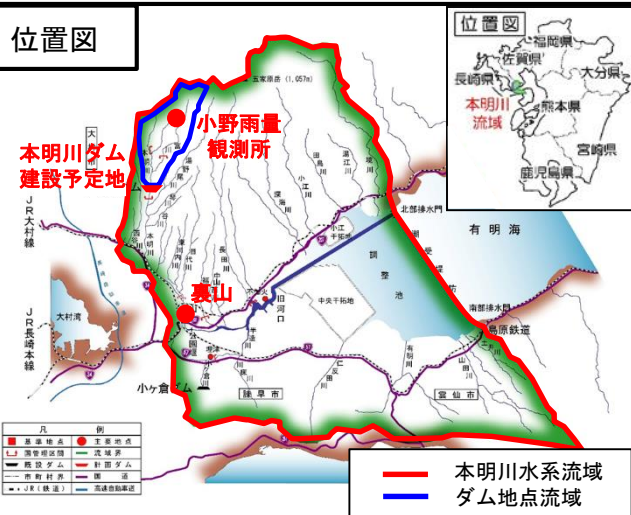
ほんみょうがわ ほんみょうがわ
本明川水系 本明川ダムに期待される効果

- 梅雨前線に伴う豪雨により、本明川ダム上流域においては、降り始めからの総雨量※1が606mmを記録し、7月一ヶ月間の平均降水量※2の約1.7倍に相当する大雨となりました。
- この豪雨により、諫早市街地に位置する裏山地点では、氾濫危険水位を超過する洪水となりました。
- 現在、建設を進めている本明川ダムが完成していれば、最大約212万m³(25mプール約5,900杯分)の洪水を貯留し、裏山地点において約50cmの水位を低減し、氾濫危険水位を下回っていたと推定されます。

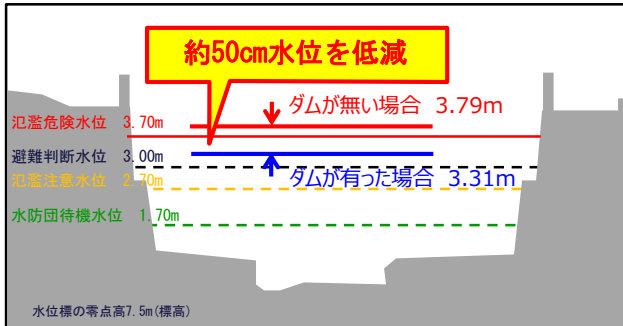
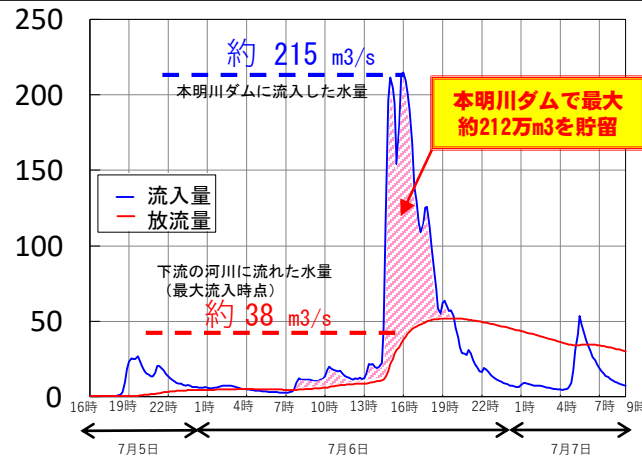
※1 小野雨量観測所(国)における7月5日16時~7月8日2時の累加雨量

※2 小野雨量観測所(国)における平成22年~令和元年の平均値

位置図



本明川ダムが完成した場合の状況



裏山地点における水位低減効果(イメージ)

本明川水系本明川 左岸 5k950



裏山地点 (7/6 16時10分頃)

本明川水系本明川 左岸 5k950



裏山地点(平常時)

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。